

赤痢アメーバ感染症について

23/11/22、赤痢アメーバ症に関する臨床的疑問に答える新しい情報サイト「赤痢アメーバ・リファレンス」が公開されました(<https://ameba.ncgm.go.jp/>)。そこで、普段関わることの少ないこの感染症を簡単にまとめてみました。

○赤痢アメーバとは？

腸管原虫赤痢アメーバによる寄生虫感染症。本邦では**全数報告対象(感染症法5類感染症)**であり、年間約500-1000件報告されている。従前は、輸入感染症と考えられていたが、近年の疫学では**8割は性感染症**と考えられている。そのため、流行地への渡航歴の有無に限らず、アメーバ赤痢は腸管感染や肝膿瘍の鑑別疾患となる。

○臨床症状

病型が多彩で、それぞれ異なる症状を呈する。

- ①腸管アメーバ症 → 潰瘍性大腸炎と鑑別が難しい！(激しい下痢、粘血便)
- ②アメーバ性肝膿瘍 → 発熱以外に症状乏しく、不明熱鑑別で発覚しやすい膿瘍だがショックバイタル呈しにくい
- ③劇症性アメーバ赤痢 → 原因不明の腸管穿孔 術後も繰り返す虫垂炎 MNZ未投与だと穿孔を繰り返してしまう！

○検査方法(保険適応のあるもの)

- ①糞便直接顕鏡検査 → 検査者の技能・経験が必要
- ②糞便迅速抗原検査 → カード式キットで可能 特異度も高い
- ③病理検査 → 特殊な染色操作が必要となるため注意！



○アメーバ赤痢感染症の治療

フラジール(メトロニダゾール)250mg 1回2錠 1日3回(毎食後)**10日間**

→終了後、**アメパロモ**(パロモマイシン)250mg 1回2cup 1日3回(毎食後)**10日間**

or

アネトロ(メトロニダゾール)500mg 1日3回(静注)8時間毎 **10日間**

→終了後、**アメパロモ**(パロモマイシン)250mg 1回2カプセル 1日3回(毎食後)**10日間**



○無症候性キャリアの場合

アメパロモ(パロモマイシン)250mg 1回2カプセル 1日3回(毎食後)**10日間** のみ

なお、アメパロモは当院採用ございません。必要時は薬剤部までお問合せください。